

第156回 大原美術館 ギャラリーコンサート



Daichi Fujiki, counter-tenor

# 藤木大地

## カウンターテナー！ リサイタル

『日本のうたと、その時代』  
〜歌の絵』

ピアノ: 中村圭介  
Keisuke Nakamura, piano

©hiromasa

2019年  
**10月26日(土)** 開場18時/開演18時30分

大原美術館・本館2階ギャラリー

全自由席 5,000円(税込)

学生シート1,000円(税込)【小学生~25歳までの学生対象・限定先着30席】

※公演当日、入場時に学生証の提示をお願いいたします。

チケット発売 10月1日(火) 9時~

【定員200名】

お申し込み・お問合せ

大原美術館 TEL086-422-0005

\*月曜休館(9/16・23は開館)、10月は無休

ギャラリーコンサート

TEL086-422-2140

\*土・日・祝日休業

協賛 ⑤丸五ホールディングス株式会社 ⑥



# 第156回 大原美術館 ギャラリーコンサート

## 世界が認めた至高のファルセット・ボイス



2017年、ウィーン国立歌劇場に東洋人初のカウンターテナーとして登場し、聴衆と現地メディアの絶賛を浴びた藤木大地さん。同劇場のマイヤー総裁が終演後「ダイチ、スーパーデビューだったよ!」と祝福した言葉を、藤木さんは生涯忘れることはないでしょう。

東京の新国立劇場で2003年にデビューした藤木さんは、もともとテノールでしたが、文化庁の研究者としてイタリア留学した時に、ドイツ各地の歌劇場のオーディションを受け続けるも成果が出ず、帰国後はオペラのプロデューサーのアシスタントや裏方などの仕事にも携わりました。後年、奨学生として再渡欧する機会を得てウィーンに留学。オペラ・ビジネスを学びながら続けていた歌の勉強中、たまたま風邪をひいて裏声で歌ったことで、カウンターテナーという可能性を発見したのだそうです。藤木さんは持ち前の行動力で本格的にカウンターテナーの名手に師事し、コンクール挑戦の猛勉強に臨みました。ローマのコンクールでファイナルまで進んだ藤木さんの才能は、そこからイタリアの劇場オーディションのチャンスをつかみ、ついに2013年、ボローニャ歌劇場で欧州デビュー。その前年には、日本音楽コンクール声楽部門で第1位に。権威ある同コンクールで史上初めてカウンターテナーが優勝したことで、男性が女性の音域で歌う、この声楽独特のポテンシャルが、日本でも改めて注目されるようになりました。

ウィーンの“スーパーデビュー”後はリサイタルでも人気を博し、今や引っ張りだこの藤木さん。圧倒的な歌のパフォーマンスで聴衆の感涙を誘っています。

倉敷初公演のための特別プログラム。美術館の名画のギャラリーを舞台にした贅沢なステージで、至高のファルセット・ヴォイスをお楽しみ下さい。共演は、ドイツで研鑽を積み、国内外で活躍しているピアニスト、中村圭介さんです。



### 藤木大地 (カウンターテナー) *Daichi Fujiki, countertenor*

2017年4月、オペラの殿堂・ウィーン国立歌劇場に鮮烈にデビュー。アリベルト・ライマンがウィーン国立歌劇場のために作曲し、2010年に世界初演された『メディア』ヘロルド役での殿堂デビューは、日本人、そして東洋人のカウンターテナーとしても史上初の快挙で、現地メディアから絶賛されるとともに、音楽の都・ウィーンの聴衆から熱狂的に迎えられただけでなく、日本国内でも大きなニュースとなる。2011年、ローマ国際宗教音楽コンクールファイナリスト。2012年、第31回国際ハンス・ガボア・ベルヴェデーレ声楽コンクールにてオーストリア代表として2年連続で選出され、世界大会でファイナリストとなり、ハンス・ガボア賞を受賞。同年、日本音楽コンクール第1位。2013年5月、ボローニャ歌劇場にてグルック『クレリアの勝利』マンニオ役でヨーロッパデビュー。続いて6月にも同劇場にパッティステリ『イタリア式離婚狂想曲』カルメロ役で出演。国際的に高い評価を得る。国内では、NHKニューイヤーパーオペラコンサートへの5年連続出演をはじめ、主要オーケストラとの公演や各地でのリサイタルがどれも絶賛を博している。また、村上春樹氏原作の映画「ハナレイ・ベイ」(2018年10月公開)の主題歌を担当、同時にマーティン・カット氏共演による待望のメジャー・デビュー・アルバム「愛のよろこびは」(ワーナーミュージック・ジャパン)がリリース。2020年4月には新国立劇場の新制作オペラ、ヘンデル『ジュリオ・チェザレ』にトロメオ役で出演することが発表された。パロックからコンテンポラリーまで幅広いレパートリーで活動を展開する、日本で最も注目される国際的なアーティストのひとりである。

### 《Program》

プロムナード ～「展覧会の絵」より (ムソルグスキー)

※ピアノ・ソロ

私の王座を嫌い、侮蔑した

～歌劇『ジュリオ・チェザレ』より (ヘンデル)

アヴェ・マリア (シューベルト)

優雅な月よ (ベッリーニ)

アヴェ・マリア (J.S.バッハ/グノー)

紅葉 (岡野貞一)

宵待草 (多 忠亮)

赤とんぼ (山田耕祚)

かんぴょう (福井文彦)

ちいさい秋みつけた (中田喜直)

\*\*\*

ムーン・リバー

～「ティファニーで朝食を」より (マンシーニ)

死んだ男の残したものは (武満 徹)

アヴェ・マリア (カッチーニ/ヴァヴィロフ)

翼をください (村井邦夫)

落葉松 (からまつ) (小林秀雄)

夢やぶれて ～「レミゼラブル」より (シェンベルク)

旅のこころ (加藤昌則)

鴉 (かもめ) (木下牧子)

花は咲く (菅野よう子)

今、トランペットが勝利の歌を

～歌劇『リナルド』より (ヘンデル)

### *Keisuke Nakamura, piano* 中村圭介 (ピアノ)

1981年神戸生まれ。兵庫県立西宮高校音楽科を経て京都市立芸術大学音楽学部、ドイツ国立ハノーファー音楽演劇大学芸術家養成課程、その後文化庁在外派遣制度研修生として同大学ソリスト課程へ進み研鑽を積む。在学中に野村国際文化財団より奨学生と認められ、グリーグのピアノ作品の演奏・研究を行う。第6回兵庫県学生ピアノコンクール最優秀賞、第3回神戸芸術センター記念コンクール銅賞、第10回グリーグ国際ピアノコンクールにてバルトーク賞及びディプロムを授与、第24回宝塚ベガ音楽コンクール第2位など、多くのコンクールで成果を上げたほか、ソロ、室内楽ともに積極的な演奏活動を展開。ドイツ、スペイン、ノルウェーにてリサイタルを開催するなど国内外のコンサートへ数多く出演している。また、伝統的なレパートリーに留まらず、JCMRKYOTOによる現代音楽のコンサートや創生劇場「歌舞伎舞踏X西洋音楽」、現代作曲家の新作初演、オペラ公演を手掛けるなどその活動は多岐に渡る。現在神戸市混声合唱団ピアニスト団員。2016年にデビュー・アルバムとなるグリーグのピアノ作品集「アリエッタ」をStudio N.A.Tよりリリース。

